エコアクション21

環境活動レポート

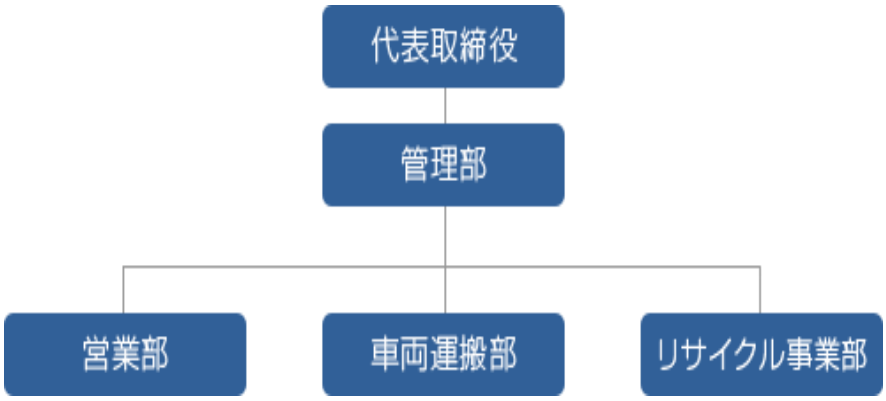
株式会社　昇　鋭

対象期間：2022年4月～2023年3月

発行日：2023年7月1日

１.組織の概要

会社概要・事業内容

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="2">株式会社　昇　鋭</td></tr>
<tr><td>代表者</td><td colspan="2">代表取締役　飯野　智光</td></tr>
<tr><td rowspan="3">所在地</td><td>本　社</td><td>〒136-0082　東京都江東区新木場 4-5-8
TEL：03-5569-8777　FAX：03-5569-8778</td></tr>
<tr><td rowspan="2">駐車場</td><td>新木場 3 丁目駐車場
東京都江東区新木場 3-8-12</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td>環境管理責任者
氏名及び
担当者連絡先</td><td colspan="2">環境管理責任者　高橋　昌充
TEL：03-5569-8777　FAX：03-5569-8778
Ｅメール：office@shouei-m.com</td></tr>
<tr><td>設　立</td><td colspan="2">昭和 48 年 6 月 26 日</td></tr>
<tr><td>資本金</td><td colspan="2">1,000 万円</td></tr>
<tr><td>売上高</td><td colspan="2">5.4 億円（2022 年 6 月～2023 年 5 月）</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="2">鉄・非鉄金属リサイクル、
一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集・運搬</td></tr>
<tr><td>会社組織</td><td colspan="2"> 
</td></tr>
</table>

事業内容詳細

廃棄物収集運搬業及び古物商　許可番号・許可品目・許可期限

都道府県名	許可番号	許可品目													許可年月日 許可の有効年月日
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	水銀使用製品産業廃棄物	石綿含有産業廃棄物	
産業廃棄物															
東京都	013-10-029386	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R02.04.01 R07.03.31
	積替保管有無	○				○	○	○	○	○	○	○	○		
神奈川県	014-03-029386	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R5.07.13 R10.06.14
埼玉県	011-01-029386	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	R03.04.15 R08.04.05
千葉県	012-00-029386	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	R4.12.17 R9.12.16
特別管理産業廃棄物															
東京都	013-57-029386		○	○	○										R4.11.11 R9.11.10
神奈川県	014-50-029386		○	○	○										R4.11.25 R9.07.17
千葉県	012-50-029386		○	○	○										R4.12.05 R9.12.04
一般廃棄物		許　可　区（許可品目：普通ごみ）													
東京都	1243	新宿区、墨田区、大田区　計３区													R04.10.01 R06.09.30
古物商（有価物）		東京都公安委員会　第３０２２１０８０６９００号													H20.04.01 無期限

保有車両（トラック：ディーゼル車　乗用車：ガソリン車）

区　分	車　　種	台数
産業廃棄物 有価物	２トントラックパワーゲート車 ３トントラックパワーゲート車 ３トントラックユニック車 ４トントラックコンテナ車	２台 ６台 １台 ２台
一般廃棄物	軽自動車ダンプ車	１台

産業廃棄物積替保管施設　　面積７５０．１㎡、　最大高さ１．５ｍ

保管廃棄物の種類	保管量
汚泥、廃プラスチック類、金属くず（廃小型電池に限る）	ペール缶１個　　２０ℓ
汚泥、廃プラスチック類、金属くず（廃乾電池に限る）	ペール缶１個　　２０ℓ
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	コンテナー１個　８㎥
廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃蛍光ランプ（水銀使用製品廃棄物）に限る。）	コンテナー１個　３㎥
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る）	フレコンパック３個　３㎥
	保管量合計　１４．０４㎥

施設及び従業員数

従業員数	１３名
延床面積　作業場	５７７㎡
延床面積　事務所	１５７㎡

廃棄物及び有価物収集運搬量（令和３年４月～令和４年３月）

種　　別		運搬量（単位：トン）
産業廃棄物	廃油	２１．０８
	廃プラスチック類	２４３．１７
	ガラス・陶磁器くず	３．８４
	金属くず	４６０．０６
	木くず	２１．５６
	紙くず	３９．８９
	繊維くず	０．０８
	がれき類	１２２．４０
	汚泥	０．０９
	石綿含有廃棄物	７．５３
特別管理産業廃棄物	廃酸	０．４６
	廃アルカリ	０．００
一般廃棄物	普通ごみ	１．５５
有価物	金属、非鉄金属他	７６５．６２

２．対象範囲

・登録組織名：株式会社　昇　鋭
・対象事業所：本　　社　　：東京都江東区新木場 4-5-8
　　新木場３丁目駐車場：東京都江東区新木場 3-8-12

３．環境経営方針

環 境 経 営 方 針

〈環境理念〉

株式会社昇鋭は、鉄・非鉄金属リサイクルと廃棄物収集運搬の事業を通じて、顧客と地域との更なる信頼と繋がり構築を目指して、従業員一丸で環境に配慮した事業活動を継続的に取組みます。

〈基本方針〉

１．節電と省エネルギー化を進め、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
２．リサイクル率を高め、廃棄物の発生量低減に努めます。
３．節水に努め、排水量を低減します。
４．環境に関連する法規制・条例等を遵守し、環境配慮に努めます。

社内要所に環境方針を掲示し、全従業員にｴｺｱｸｼｮﾝ 21 環境経営ｼｽﾃﾑを徹底します。

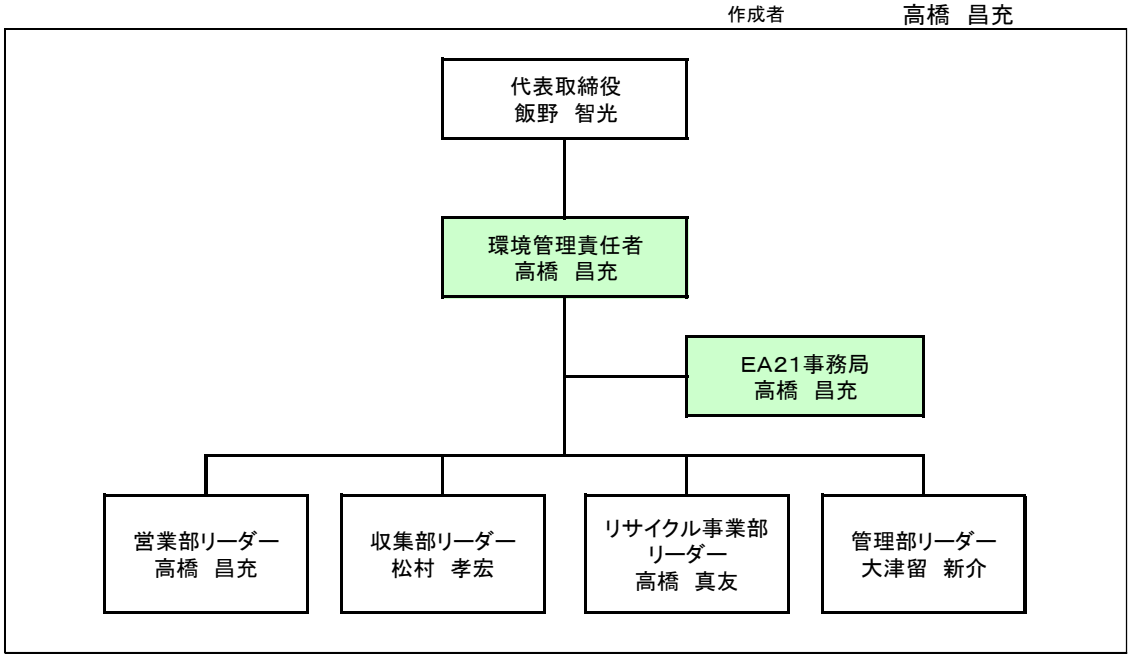
制定日　2022 年 6 月 1 日

株式会社　昇　鋭
代表取締役
飯野智光

４．エコアクション２１実施体制

株式会社　昇　鋭
エコアクション21実施体制図

作成日	平成24年12月14日
修正日	令和5年2月1日
作成者	高橋　昌充



	役割・責任・権限
代表者　（社長）	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポート承認 ・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する（代表者からEA21の権限を委任） ・実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ・環境目標・環境活動実施計画書/実績表の作成 ・教育・訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境経営レポート作成 ・環境経営の取り組み結果を代表者へ報告
EA21事務局	・EA21の推進（環境管理責任者の指示を受けて） ・環境への負荷及び取組チェック実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施 ・環境関連文書・記録の管理
・営業部リーダー ・収集部リーダー ・リサイクル事業部 リーダー ・管理部リーダー	・外部環境情報の窓口（管理部） ・環境目標及び環境経営計画の実施・確認・評価、達成状況の報告 ・環境経営におけるチェックリストの記録・運用管理 ・実施上の問題点の是正・予防処置実施
全従業員	・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・EA21で決められた各自の役割を実施

５．環境経営目標・環境経営目標の実績

中長期目標

	基準年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
１．二酸化炭素 排出量削減				
・電気　　(Kg-Co2)	13,455	△0.5% (13,388)	△1.0% (13,320)	△1.5% (13,253)
・自動車燃料（Kg-Co2)	75,865	△0.5% (75,486)	△1.0% (75,107)	△1.5% (74,727)
・ＣＯ２合計（Kg-Co2)	89,992	88,874	88,427	87,980
２．廃棄物の再資源化率(%)	100%	100%	100%	100%
３．総排水量削減（m3)	130	△0.5%（129.4)	△1.0%（128.7)	△1.5%（128.1)
４．グリーン購入(%)	71%	71%	71%	71%
５．有価物回収率(%)	80%	80%	80%	80%

※基準年度は、2022 年度
※CO2 排出係数は、R2 年 1 月環境省発表の東京電力エナージーパートナーの調整後排出係数 0.455ｋｇ－CO2/kwh を使用した
※グリーン購入は、購入品目リストにのせた割合

実績（2022 年 4 月～2023 年 3 月）

	基準年度	2022 年度目標	2022 年度実績	目標達成状況
１．二酸化炭素 排出量削減				
・電気　　(Kg-Co2)	13,455	△0.5%(13,388)	13,700	×
・自動車燃料（Kg-Co2)	75.865	△0.5%(75,486)	71,605	○
・ＣＯ２合計（Kg-Co2)	89,320	88,747	85305	○
２．廃棄物の再資源化率(%)	100%	100%	100%	○
３．総排水量削減（m3)	130	△0.5%（129.4)	136	×
４．グリーン購入(%)	71%	71%	71%	－
５．有価物回収率(%)	80%	80%	80%	○

○目標達成　△目標未達成但し基準年比減　×目標未達成

６．環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

仕事量増加により目標未達の項目があった。仕事量に左右されない項目は達成できているので
今後も取組内容をより明確化し、全項目において達成出来るよう努力する。

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 **（電気）** ・事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯する ・服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑える	一年を通じて不要な電力消費を抑える努力をしたが基準年を下回ったが目標を到達できた。引き続き節電意識を持ち、次年度は目標達成できるよう削減して行きたい。	・事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯する ・工場内、扇風機等の冷房機器のこまめな電源操作を行う。
二酸化炭素排出量削減 （自動車燃料） ・ゆるやかなアクセル操作を心掛け燃費向上及び安全運転を励行する ・運行前点検を毎日行い、タイヤ空気圧等もチェックする ・エコドライブ 10 のすすめの推進	仕事量減少の為車両稼働が減少したため目標達成した。仕事量に係らず常に二酸化炭素排出していることを意識し、エコドライブを心掛ける	・ゆるやかなアクセル操作を心掛け燃費向上及び安全運転を励行する ・運行前点検を毎日行い、タイヤ空気圧等もチェックする ・エコドライブ 10 のすすめの推進
廃棄物の再資源化率 ・廃プラスチック類、金属くずの分別の徹底	分別排出が出来たため再資源化率100％を達成。引き続き分別の徹底を行い再資源化率の維持に努める	・廃プラスチック類、金属くずの分別の徹底
総排水量の削減 ・蛇口を開けっ放しにしない ・給水ハンドルを全開にせず使用量削減	常に節水の意識をもって職務に取り掛かっていたが、目標を達成できなかった。更に意識を高め節水に努めていきたい。	・蛇口を開けっ放しにしない ・給水ハンドルを全開にせず使用量削減
グリーン購入 ・事務用品のグリーン購入比率を上げる	現状維持するとともに、ネット等で情報収集をする。	・事務用品のグリーン購入比率を上げる
有価物回収率の維持・向上 ・電線の剥離割合の維持・向上	利益確保と作業性を考え対応が出来た。	・電線の剥離割合の維持・向上

７．環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は令和３年５月 14 日に評価した結果、過去３年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	適用される事項 （事業活動、施設、物質等）	遵守状況の確認・評価
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業	遵守及び届出事項確認済
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業	遵守及び届出事項確認済
古物営業法	鉄・非鉄金属リサイクル	遵守事項確認済
東京都環境確保条例	指定作業場　本社作業場 該当項目　ディーゼル車 12 台	届出事項確認済 車検証確認済
自動車ＮＯｘ・ＰＭ法	該当項目　ディーゼル車 12 台	車検証確認済
消防法	本社作業場	届出事項確認済
使用済自動車の再資源化に関する法律	該当項目　車両 13 台	該当無し
特定家庭用機器再商品化法	該当項目　テレビ１台、冷蔵庫３台	該当無し
資源の有効な利用の促進に関する法律	該当項目　パソコン８台	該当無し
フロン排出抑制法	該当項目　業務用エアコン１台 該当項目　スポットクーラー６台 上記の簡易点検記録実施	簡易点検記録確認（年４回）

８．代表者による全体評価と見直しの結果

当初設定の基準年 2014 年を 2020 年へ見直しをした。結果は仕事量増加に伴い車両稼働率、廃棄物排出量も増加してしまった。その中で仕事量に左右されづらい電力・水道の使用量は目標を達成できた。また軽油量と電力量は売上当りで 2020 年度比で夫々0.83、0.84 と改善された。これは社員の日頃の努力・意識により目標が達成でき事は喜ばしい。

次年度も基準年を上回る仕事量になる予測があるが、目標を念頭に置いて環境負荷低減に努めていきたい。

（以上）